



“歴史と未来をつなぐ”^{みこでんいせき}神子田遺跡改修

弥生式住居跡復元から32年、この度、棟部分と側面のメンテナンスが行われました。

この遺跡は、昭和57年、本校体育館建設に先立つ調査より発見された貴重なもので、本物は元どおりに埋め戻され、その上に地形のみ復元、体育館は西へずらして建築されました。



今回の改修工事を請け負っていただいた本校卒業生である深澤工務店の金谷様によると、「一般的な茅葺修理時期は20年と言われます。神子田遺跡の茅葺き部分は30年近くの風雨に耐えてきました。雨漏りの形跡は見られず、支柱、骨組みの腐朽はありませんでした。今回の改修工事では、まず、側面の腐朽部分を撤去し、良質な富士山御殿場の茅を全体の30%に差し葺きし、かり込み、形成作業を行いました。棟部分は全面的に葺き替え、雨切り飾りは、杉皮、竹などで新調しました。刈り込みを行った分、茅自体が短くなっています。」ということです。

5・6年生(1年生も)は、屋根の穴の空いているところを見つけて茅を差し込んでいく作業を手伝いました。まさに歴史が未来へとつながっていく作業ではないかと感じます。今回茅葺き作業を担当していただいたのは「但馬茅葺」代表の三木宏祐様です。「伝統文化を守る」と「時代に沿った茅葺を新しく創る」を融合させ、国際的な「茅葺き」を展開されているアーティストです。「2000年(もっと?)前から変わっていない建土工法は茅葺だけです。そんな遺跡が学校の中に復元されているのは、おそらく高田小学校だけではないでしょうか。そして、それが学校・地域のシンボルとして受け継がれ、守り続けられていることに感動します。」また「自然環境にとってもよく、地震にも強い。日本だけでなく、世界中で見直されている工法です。」と話され、茅葺の家に関する豆知識や修理の仕方を分かりやすく教えていただきました。(※3月15日発行の高田小学校PTA会報「朝霧」と併せて読んでいただければ幸いです)

改修された神子田遺跡は、見た目はふっくら、中身は引き締まって、堂々としていて、かつ優しい表情をみせています。一度お立ち寄りください。

さて、風は、まだまだ冷たいのですが、日当たりのよい空き地や土手にオオイヌノフグリの青い小さな花を見つけました。子どもたちは、今、それぞれの教室で大切な時間を過ごしています。学年の終わりが近づいているのです。一人一人の子どもたちに、一つ一つの大事なことが確実に身についたかどうかを確認しながら、各学級とも、全力で締めくくりに取り組んでいます。児童も職員もしっかりと年度のまとめをし、春に向かって進んでいきます。

3学期の高田小学校

神子田遺跡修理中



上郡町を代表する弥生時代の遺跡（竪穴住居）を修理しています。また、児童も修理に参加しました。

たてわり班あそび



6年生が中心となって考えた遊びをたてわり班のみんなで遊んでいます。

雪あそび



雪の中でも子どもたちは元気いっぱいです。

消防署見学(3年生)



私たちの安全を守ってくれる消防署について学習しました。

避難訓練(1.17)



自分や友だちの命を守るために避難訓練を行いました。当日は、防災給食を食べました。

2月の行事予定



3月の行事予定



15日(水) PTA新旧理事会・学級委員会	1日(水) 第147回創立記念日
16日(木) 14時下校	2日(木) 6年生を送る会
17日(金) 代表委員会 算数検定	3日(金) 新1年生体験入学・委員会活動
22日(水) 来年度児童会役員選挙	7日(火) 愛校活動
23日(木) 天皇誕生日	10日(金) お話玉手箱
24日(金) 6年乗法訓練	16日(木) 代表委員会

新型コロナウイルス感染状況により予定が変更になる場合があります。